

単元について

○単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説生活編の内容（3）「自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。」及び（8）「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。」を受けて設定したものである。

ここでは、児童にとって身近な生活圏である校区に出かけて様々な場所を調べたり、人と接したりする中で、それらに対する親しみの気持ちや愛着を深めるとともに、人々との適切なかかわりや安全な生活ができるようにすることをねらいとしている。

社会福祉法人「ユキ園」は、教育授産施設である。校区内の中でも学校から近い場所に位置しながらも、これまでに交流がなかった。「ユキ園」の方と通学路で出会うことがこれまでにあったが、適切なかかわりをもちにくかった実態である。

○児童観

本学級の児童は、第1学年の生活科で学校の周りや公園で、繰り返し遊ぶ活動を通して、公園の遊具や自然を生かしてみんなで遊ぶ楽しさを体験している。そのことにより、ルールを守ることの大切さにも体験的に気付くことができた。児童が主体的に生活する場は、自宅付近や親しい友達との遊び場が中心であり、「海田の町」に住んでいること、友だちのお気に入りの場所がいろいろな場所にあることや、これまで日常接している町の人とのかかわりなどには気付いていない。また、地域のよさや地域への関心があるとは言えない。

アンケートでは、「授業では、勉強する問題について『なぜだろう』『やってみよう』と思っている」の項目が93%で、課題に対して主体的に取り組んでいる傾向が伺われる。一方、活動に主体的に取り組んでいるものの、「自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫している」の項目は75%という結果で表現することには課題がある。学校生活の中でも、自分の思いを伝えることが苦手な児童や、相手の思いを考えて行動することが難しい児童がいる。そのため、整理・分析して思考し考えを伝え合う場面では、グループ活動を設定し、協働的に学ばせる中で、自分の考えを明らかにし、表現させるための工夫が必要である。

○指導観

「ユキ園」とのかかわりをつなげる活動を考える際には、実際に「ユキ園」の方たちとのふれあいで得た実感を持った経験と自分とのかかわりを関連付けながら活動を考える力が必要となる。本単元で育成したい思考の力は、経験と自分とのかかわりを関連付ける力や、交流会にふさわしい活動を「ユキ園」の人の立場等から多面的に考える力である。

「ユキ園」とのかかわりをつなげる活動を決めていく際には、エリアチャート座標軸を用いる。「できる」「できない」「わからない」の視点で整理し、活動を考えていく。常に『ユキ園』の人たちにとって」という相手意識をもたせて大切にしながら思考させることに留意してエリアチャートで整理させる。このように、思考ツールを用いお互いの考えを可視化しながら、グループで協働的に学ばせることで、本学級の児童の課題である自分の考えを出し、お互いの意見を認め合いながら表現させることに留意する。

単元の目標

- 地域の人々や自然・公共施設など自分なりの思いをもって、進んでかかわろうとする。
【関心・意欲・態度】
- 町探検を通して、地域の様々な場所や自然・人々と自分の生活とのかかわりが分かるとともに、そのことを自分なりに表現することができる。
【活動や体験についての思考・表現】
- 自分たちの生活は、地域の人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、海田の町への親しみや愛着の気持ちをもつことができる。
【身近な環境や自分についての気付き】

単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
身近な地域の人々や様々な場所に関心をもち、ルールやマナーを守り、安全に気を付けて、見たり、調べたり交流の準備をしたりしようとしている。	行きたい場所や会ってみたい人を決め、相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら、活動の計画を立てて、町探検をするとともに、それを振り返って、すなおに表現している。	地域には様々な場所があり、多様な人々が生活したり働いたりしていることが分かり、それらが自分たちの生活を支えていることや、楽しく、豊かにしていることに気付いている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	<ul style="list-style-type: none"> ・海田の町の人々やさまざまな場所に関心をもち、ルールやマナーを守り、安全に気を付けて、自主的に見たり、調べたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海田の町の人々やさまざまな場所に関心をもち、ルールやマナーを守り、安全に気を付けて、見たり、調べたりしようとしている。
【思考力】	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい場所や調べたいことをもとに、活動の計画を立てたり、分かったことやさらに調べたいこととその理由を考えている。 ・町の大すきを見付ける活動を通して、場所と自分や自分以外とのかかわりを関連付けながら考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい場所や調べたいことをもとに、活動の計画を立てたり、分かったこととその理由を考えている。 ・町の大すきを見付ける活動を通して、場所と自分とのかかわりを関連付けながら考えている。
【自己理解】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域には様々な場所があり、多様な人々が生活したり働いたりしていることが分かり、それらが自分たちの生活を支えていることに気付き、これから自分にできることを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域には様々な場所があり、多様な人々が生活したり働いたりしていることが分かり、それらが自分たちの生活を支えていることに気付いている。

指導と評価の計画

全 20 時間

次	時	学習内容	評 価				
			関	思	気	評価規準	評価方法
一	1	課題の設定（１） ○町のことを話し合う。 ・事前に書いた日記の中から、自分の町の好きなところについての紹介を聞き、町探検をするという学習課題をもつ。 ・自分の住んでいる校区について知っていることを発表し合い、行ってみたい場所や見たいものについて話し合う。	○			・身近な地域の人々やさまざまな場所に関心をもってかかわろうとしている。	発言 ワークシート
	2	情報の収集（４） ○町探検の計画を立てる。（探検場所については、児童の思いによって精選する。） ・探検に行きたい場所を話し合い、行く場所や行く順番を決め、安全に気を付けて探検するためのルールやマナーについて考える。	○			・行きたい場所を決めたり、相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えたりしながら、探検の計画を立てている。	発言 行動観察 ワークシート
二	3 ～ 5	○2つのコースに分かれ探検に行く。 1コース 稲葉・寺迫・蟹原・浜角地区（畑、三迫郵便局、寺迫公園、東海田幼稚園、花工房 k i k i、蟹原公園、海田自動車学校、ユアーズ、グランマシェリー（ケーキ屋）、ユキ園）の町探検をする。 2コース 国信・砂走・畝・浜角地区（ラーメン屋、ペットショップ、砂走公園・出先森神社、ふるさと館、エブライ海田店、石原公園、海田東公民館、海田東児童館、ユキ園）の町探検をする。	○			・場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら、ルールやマナーを守って、探検している。	発言 行動観察 ワークシート
	6 ・ 7	整理・分析（１０） ○見付けた場所やもの、人などについて交流し合い、絵地図にまとめ、整理する。 ・情報が少ない場所（ユキ園）に気付かせ、さらに探検をする必然性をもたせる。		○		・探検で見付けたことを友だちと伝え合っている。	発言 行動観察 ワークシート
	8	○探検の計画を立てる。 ・「ユキ園」について調べていくことを知る。		○		・相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えたりしながら、探検の計画を立てている。	発言 行動観察
	9 ・ 10	○「ユキ園」に訪問し施設や人々の様子を知る。 ・「ユキ園」へ訪問し、見学を通して施設内の様子を知る。	○			・場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら、ルールやマナーを守って、探検をしている。	発言 行動観察

次	時	学習内容	評 価				
			関	思	気	評価規準	評価方法
二	11	○「ユキ園」での訪問で分かったことや感じたことを交流し、まとめる。 ・分かったことや感じたことをまとめ、「ユキ園」の方たちとかかわりもっと知りたいことを話し合う。		○		・探検で見つけたことの中から、友だちに伝えたいことを相談して選び、友だちと伝え合っている。	発言 行動観察 ワークシート
	12 ・ 13	○2回目の「ユキ園」への訪問を行う。 ・「ユキ園」の一日（朝礼・掃除、作業訓練）・作業内容（菓子製造、手芸、工作、陶芸、絵画、押灸、書道）・イベント開催について知る。 ・作業（折り鶴解体など）を一緒に体験する。			○	・地域には様々な場所があり、多様な人々が生活したり働いたりしていることが分かり、それらが自分たちの生活を支えていることや楽しく、豊かにしていることに気付いている。	発言 行動観察
	14	○「ユキ園」とのかかわりをつなげる活動について考える。 ・かかわりをつなげる活動を「ユキ園」の方の思いや願いに寄り添うものになっているかという視点でエリアチャートに整理する。		○		・「ユキ園」の方たちとかかわりをつなげる活動について考えている。	発言 行動観察 ワークシート
	15	○「ユキ園」とのかかわりをつなげる活動について話し合う。 ・前時に考えた活動について、グループごとに実現可能な活動か話し合い、活動内容を考える。 【本時】		○		・「ユキ園」の方たちとかかわりをつなげる活動について考えている。	発言 行動観察 ワークシート
	16	○話し合いを基に「ユキ園」とのかかわりをつなげる活動を決定する。 ・話し合い実現可能な活動を決定する。		○		・「ユキ園」の方たちとかかわりをつなげる活動を決めている。	発言 行動観察 ワークシート
	17 ～ 19	まとめ・創造・表現（3） ○「ユキ園」の方たちとかかわりをつなげる活動の準備を行う。 ・楽しかったことを書いたり、絵に表したりして渡す。		○		・「ユキ」園の方たちとかかわりをつなげる活動の準備に進んで取り組んでいる。	発言 行動観察 ワークシート
	三	20	振り返り（1） 学びのモニタリング ○学習を振り返る。 ・これまでに学習したことを振り返り、それぞれの施設に親しみや愛着をもった自分に気付き、これからもかかわり、つながっていきたいという思いを抱く。			○	・地域には、様々な場所やものがあり、多様な人々が生活したり、働いたりしていることが分かり、それらと自分たちとかかわりに気付いている。

本時の学習

(1) 本時の目標

- 「ユキ園」とのかかわりをつなげる活動内容について、「ユキ園」の方の思いや願いに寄り添うものになっているか考えることができる。

(2) 本時の評価規準

- 「ユキ園」の方たちとのかかわりをつなげる活動について相手や場に応じた活動か考えている。

【活動や体験についての思考・表現】

(3) 本時の学習展開 (15 時間目 / 全 20 時間)

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 前時までの学習を振り返る。 ○「ユキ園」の人たちとつながっていく活動を考える時、大切にしたいことは何ですか。 ・ユキ園の人に喜んでもらえるか。 ・自分たちもうれしいものになりたい。 ・自分たちが楽しかった気持ちを伝えたい。 2 本時の学習課題を確認する。 めあて _____ 「ユキ園」の人がよろこんでくれる活動を考えよう。	◇「ユキ園」の人の思いや願いに寄り添うものになっているか、自分たちの思いを伝えられるものになっているかという視点で考える必要性に気付かせる。	
<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">本時のゴールの見通し</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> A：友だちの考えと比べながら自分の考えをもつことができた。 B：喜んでくれる活動と理由について考えることができた。 </div>		
3 それぞれの活動が「ユキ園」の人の願いや思いに寄り添うものになっているか、自分たちの思いを伝えられるものになっているかをグループで考える。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <input type="checkbox"/> 思考の場の工夫 分類する 「ユキ園」の人の思いや願いに寄り添うものになっているか、自分たちの思いを伝えられるものになっているかという視点でエリアチャートに分類する。 </div>	◇エリアチャートを使い、活動内容を赤・黄・青の3つのエリア（「できない」「わからない」「できる」となる視点で分類しながら話し合いを進める。 ◇活動内容がそのエリアになる理由を伝え合うことで、考えの根拠を引き出すようにする。 ◇同じ活動内容でも理由によって分類する視点が違うこともあることをおさえる。 ◇活動内容とその理由を関連付けながら、活動内容の視点「喜んでもらえる」「楽しめる」「おもい出」を見付ける。 ◇「できない」エリアの活動内容については、視点をもとに方策を考えさせる。 ◆意見が出にくい場合は、「ユキ園」への探検で見た人たちの様子を思い出させるための写真などを用意しておく。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<p>4 全体で話し合う。</p> <p>○「ユキ園」の人が喜んでくれる活動内容を整理しよう。</p> <p>○実現できそうな活動は、どの活動でしょう。</p>	<p>◇各グループの意見を大きく書き出したものを黒板に貼り出しながらか読み合い、それぞれの活動のよい点と問題点を共有する。</p>	<p>◎つなげる活動について「ユキ園」の方たちの視点に立ち、考えている。</p> <p>〔活動や体験についての思考・表現〕</p> <p>(発言・行動観察・ノート)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <p>わたしは、「学習発表会に招待する。」は、喜んでもらえる活動だと思います。</p> <p>理由は、「ユキ園」の人たちはわたしたちががんばる姿を見たいと言っていたので、喜んでもらえると思うからです。</p> <p>ぼくは、「東小まつりに招待する。」は、やはり喜んでもらえる活動だと思います。</p> <p>理由は、「ユキ園」の人たちは招待されるということがあまりないので、喜んでもらえると思うからです。</p> <p>お休みの日だけど、家族の人と来てくれるとうれしいです。</p>		

(4) 板書計画

大すき いっぱい わたしのまち かい田
「どきどき わくわく まちたんけん」
めあて 「ユキえん」の人がよるこんでくれる活どうを考えよう。

〈本時のゴール〉

○活どう＋りゆう

◎＋友だちの考えから

できない

みんなで行けない。

わからない

チラシを見て行ける人が行

なかなかあえないとできな

できる

あったらいつでも

ひがし小まつり

みんながバラバラの教しつにいる。

いつ行けばいいか?

イベント

あそぶ

学校にきてもらう

やさいのたね

うまきたねがとれるかしんばい。

きっとよろこぶ。

あいさつ

手紙

学しゅうはっぴよ

うかい

ひがし小まつり

いろんなコーナーで楽しめる。

楽しめる

よろこんでもらえる

おもい出

まとめ

わたしは、「学しゅうはっぴようかいにしょうたいする。」は、よろこんでもらえる活どうだとおもいます。「ユキえん」の人たちはわたしたちががんばるすがたを見たいと言っていたので、よろこんでもらえるとおもうからです。

<参考>学びのモニタリング

海田東小 学びのモニタリング

大すき いっぱい わたしのまち かい田
「どきどき わくわく まちたんけん」

二ねん くみ ばん ()

① すすんでかい田のまちたんけんをすることができ
た。

4 とても まあまあ あまり まったく
3
2
1

② 「ユキえん」の人とのかかわりをつなげる活どうに
ついて考えることができた。

4 とても まあまあ あまり まったく
3
2
1

③ ぶんきょうしてきづいたこと、おもったこと、やっ
てみたいことなどをかきましよう。

--	--	--